

# 南信州広域連合第6回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年9月16日(木) 16:30～17:15

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

野牧広域振興係長・伊藤庶務係長・松澤庶務係主事

## 1 開会…16:30

## 2 広域連合長あいさつ

新型コロナの感染状況について、飯田保健所管内においては8月16日からの一週間の感染者数が40人を超えていたが、この直近の一週間は一桁となっている。心配された第5波ではあったが、住民の皆様のご協力や関係者の皆様のご尽力のおかげで、大きな波となることを防ぐことができたと思っている。まだまだ予断を許さない状況ではあるが、地域を挙げて感染防止対策に取り組んでいきたいと思う。

また、前回の連合会議直後の大雨によりいくつかの町村で被害があったが、関係機関の皆様のご尽力により被害を最小限に留めることができた。併せて感謝したい。

## 3 協議・報告事項

### (1) 新型コロナ感染症対策について ～資料No.1～

#### \*新型コロナ感染症対策に関する市町村の主な取組状況(第5波対応) 【事務局長】

資料については、各市町村の新型コロナ感染症対策について、大きく3項目に分けまとめたもの(主に住民への支援等を目的としたもの、主に事業者への支援等を目的としたもの、ワクチン接種の状況)。説明は省略するが、この場でなにか補足等があればご説明願いたい。

#### (主な意見等)

連合長：簡易検査キットを補正予算により5万個追加するというものだが、既に8月4日の開始時点で2万4千個分の予算を用意していたが、全く足りずに流用しながら3万8千個を配布している状況。その内、使用後にアンケートの提出があったものが、約4千4百件であり、さらに簡易キットの判別により陽性が確認されたケースは4件となっている。この4件を無症状若しくは症状の軽いうちに判別することができたのは、そこからの感染拡大を少なからず防げたわけで、一定の効果があったと考えている。

一方で、簡易検査キットで陰性を示したため、安心して人と接触してしまい感染を拡げた例もある。過度に検査キットの結果を信用せず、注意をするよう配布時に呼び掛けを徹底している。今回の補正予算で追加した5万個分で、年末年始までは対応できる見込。

簡易検査キットの件について、飯田保健福祉事務所長からなにか注意事項等があればご教授願いたい。

保健福祉事務所長：当地域は検査を素早くするということが先進的に進められており非常に良いことだと思っている。ただし、一日にウイルスが千倍と増えることもあるので、陰性だからといって安心しないように気を付けていただくことが大事である。

下條村：学生等に対しては、帰省等の際にPCR検査を受けてくるようにという制度をつくっている。それと併せて、心配な方については簡易検査キットを併用するように考えているが、このような考え方で良いか。

保健福祉事務所長：PCR検査は結果が出るまでに時間を要し、結果が出る頃には他人に感染させるほどウイルスが増えてしまっている場合もある。簡易検査キットの良いところは、PCR検査よりも感度が低下するが、短時間で結果を知ることができる点である。PCR検査後に一定期間において簡易検査キットを使用することで、より確実な水際対策となると考える。

連合長：飯田市についても配布の際には、必ず2回検査を実施するよう呼び掛けている（帰省の際に1回目、72時間後に2回目）。2回行うことで、1回目の検査のすり抜けを捕まえることができ、より効果のある水際対策となると考える。

泰阜村：飯田市の簡易検査キットについては唾液でも鼻でも検査できるものであると思うが、鼻で検査するものは、素人が使用しても正しくできるものなのか。

保健福祉事務所長：やはり唾液で検査するものよりも若干抵抗はあると思う。ある程度浅い位置で粘膜表皮を採取した場合でも結果は出るとは思うが、取扱説明通りきちんと行うことでより正確な結果が出る。

連合長：飯田市で配布しているものは、唾液でも鼻でも検査可能。取扱説明通り正しく行うとむせたり涙が出たりはあるが、アンケート結果からも皆さんきちんと検査できているという印象を受ける。使用方法については、動画での案内もしているため、誰もが見て分かるようにしている。

(2) リニア効果を地域振興に活かすビジョン策定について 【事務局長】 ～資料No. 2～

- ・資料については、北部、西部、南部の各ブロックのスケジュールや大まかな検討内容についてまとめたもの。今後、連合会議の場で具体的な検討状況については報告する場を設けていく。

→ 質疑等なし

(3) 南信州環境メッセ 2021 の開催について 【事務局広域振興係長】 ～資料No. 3～

日時：2021年12月4日（土）、5日（日） 10時～16時

会場：エス・バード

概要：大ホールを使用してのシンポジウム、事業者、団体、行政等の出展（EV等次世代自動車展示・商談、自転車展示・体験コーナー、飯田OIDE長姫高校のエコカー展示・デモ走行等）、アトラクション（子どもエコ講座、環境映画・環境アニメの上映会、テックレンジャーショー等）。

その他：シンポジウムのライブ配信や飯田FM放送の「南信州環境メッセ」特別番組の公開放送等の情報発信も行う予定。

前年度に開催された環境フェアを含め、これまでの環境イベントでは、行政や環境に取り組む住民団体等の官民主体の啓発、普及型であったが、今回は企業等の民間事業者へ参画を求め、産・官・民の共同でゼロカーボン推進を目指すコンセプトとなっている。

→ 質疑等なし

(4) 飯田広域消防本部から 【消防次長兼警防課長】 ～資料No. 4～

- ・火災発生件数について（9月9日現在）

→ 56件（前年同日比 △1件）

- ・たき火火災発生件数

→ 21件（前年同日比 △7件）

・熱中症疑いによる救急搬送の状況（4月26日～9月9日8時30分現在）

→ 搬送人員65人（前年同日比 △23人）

→ 質疑等なし

(5) 後援依頼について 【事務局庶務係長】 ～資料No.5～

\*第46回 歯と口の健康を守る郡市民大会

期 間：令和3年11月8日（月）～13日（土）

場 所：飯田下伊那歯科医師会会員歯科医療機関

主 催：飯田下伊那歯科医師会、飯伊地区包括医療協議会、飯田市

趣 旨：過去の大会の成果と経過を踏まえ、正しい口腔衛生知識の普及・定着に努め、コロナ対策を踏まえつつ、郡市民に対する健康の保持増進に寄与するものとし、地域の健康（健口）づくりに貢献するもの。

\*第3回航空機システム環境評価シンポジウム

期 日：令和3年11月9日（火）

場 所：エス・バード（新型コロナウイルス感染症対策のため、会場での聴講は地域関係者のみ）

主 催：一般社団法人航空イノベーション推進協議会、航空機装備品認証技術コンソーシアム  
公益財団法人 南信州・飯田産業センター

趣 旨：エス・バードに整備された航空機システムの環境評価試験設備について、試験機器の活用促進を図ることや、関係技術者の交流・意見交換等を通じて航空機システムの評価試験技術の向上を図ることを目的とする。

\*品川聖プロデュース 南信州阿智村コンサート Vol.12

期 日：令和3年12月11日（土）

場 所：南信州チャペル（阿智村）

主 催：品川聖 阿智村コンサート実行委員会

趣 旨：2010年より、本格的なバロックコンサートを開催。毎年テーマを決め、様々な楽器、  
（内容） レパートリー、演奏者を紹介。日本を代表するヴィオラ・ダ・ガンバ奏者である品川聖がプロデュースする。

→ 質疑等なし

(6) その他 【地域医療福祉連携課長】

\*信州木曾看護専門学校地域特定推薦選考結果について

9月13日に推薦者選考会議を開催。応募者1名について推薦することで決定する。

→ 質疑等なし

#### 4 長野県から

\*南信州地域振興局

陽性者数の推移について、南信州管内においては、第3波に次ぐ大きな波となった。9月に入り、依然として陽性者が発生しているが、当地域については比較的落ち着いた状況となってきたところである。しかしながら、県内全体では、第4波のピークと比較すると依然として高水準であるほか、減少スピードが鈍化していること、また、緊急事態宣言の発出地域を中心に全国的には感染状況が非常に厳しい地域が存在することから、引き続き感染の抑え込みが必要であり、全県の感染警戒レベル4（新型コロナウイルス特別警報Ⅰ）は当面継続とする。引き続きご理解ご協力の程、お願いします。

（主な意見等）

副連合長：第5波の波が比較的落ち着きワクチン接種が進む中、依然として経済状況等、厳しい状態が続いている。県の方でもGO TO EAT等を復活して実施していくということであるが、是非、県が先に立ち引っ張って頂きたい。

振興局長：我々としても、是非ご協力できることはしていきたいし、振興局独自の対策も今後は考えていきたいと思う。

阿智村：各市町村の経済対策を見させていただき関連するが、阿智村は観光業者が多く、皆さんのところも道の駅とか沢山あって、域内消費だけではなく外貨を稼がないといけないところが沢山あり、大苦戦していると思う。

阿智村のホテル・旅館も大苦戦で、去年の4、5月と比較して大変厳しい状況であり良い国の政策だとか県の政策があるとありがたいと感じている。

そのような状況の中で、これからの政策を打つときに、各市町村の意見を聴くような機会を作っただけであれば、次の波や正月や春の戦略など、もしかしたら我々の意見が役に立つかもしれないし、私たち自身も要望していかなければいけないと感じている。

次の戦略を検討していく中で参考にさせていただければと思う。

振興局長：観光業の厳しい状況は県庁の方にも伝えている。頂いたご意見を参考に今後検討していきたいと思う。

5 当面の日程について

特になし

6 その他

特になし

7 閉会…17:15